

2013 FUJI CHAMPION RACE SERIES 飛

SERIES CHAMPION

Super FJ

36 太田 達也



最終戦を待たずにシリーズチャンピオンを決めた36太田達也は「シリーズチャンピオンと言っても全然実感がわかないのですが、取れて嬉しいです。来シーズンは何かステップアップしたいですね」

POINT RANKING ポイントランキング

Rank	No.	Name	3/30	5/19	6/1	8/25	11/3	Total
			Rd.1	Rd.2	7/21	Rd.4	Rd.5	Point
1	36	太田 達也	20	20	10	20	20	90
2	41	今井 龍太	12	12	20	12	12	68
3	22	赤堀 憲臣	15	10	15	10		50
4	37	神村 悠太	0	0	6	8	10	24
5	5	上別府 将司	0	8	12	—	—	20
6	2	根元 悠生	—	—	—	—	15	15

FJ1600

20 柿島 昭一



前半3戦を連勝して早々にシリーズチャンピオンを決めた20柿島昭一は「シリーズが決まってとても嬉しいです。後半は出られないかもしれないので」とシーズン半ばで話していた

POINT RANKING ポイントランキング

Rank	No.	Name	3/30	5/19	6/1	8/25	11/3	Total
			Rd.1	Rd.2	7/21	Rd.4	Rd.5	Point
1	20	柿島 昭一	20	20	20	0	0	60
2	11	佐藤 晋一	—	—	—	20	20	40
3	7	笹尾 徹也	0	0	0	0	15	15
4	38	原田 健	0	0	—	15	0	15

SILVIA-180

24 瀧下 貴之



楽しめたシーズンでしたけれど、もう少し台数が増えてくれればと。NA1600にはなかなか付いてはいけなかったけれど総合優勝も出来たし、良いマシンに仕上げてくれたメカニックに感謝！です。コースレコードの更新が出来なかったことが

POINT RANKING ポイントランキング

Rank	No.	Name	3/31	6/23	8/25	11/2	Total
			Rd.1	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Point
1	24	瀧下 貴之	20	20	20	20	80

MR2

78 谷田 伸行



チャンピオンは何回か取らせていただいているんですが、今シーズンは切磋琢磨の年でした。最終戦こそ作戦が上手くいって、差をつけて勝てたけれど、毎戦接戦が続きともしんどかったです。

POINT RANKING ポイントランキング

Rank	No.	Name	3/31	6/23	8/25	11/2	Total
			Rd.1	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Point
1	78	谷田 伸行	20	20	20	20	80
2	3	土取 謙太郎	—	15	15	15	45
3	4	阿部 恵一	15	0	0	0	15

N1600

100 古谷 彰教



全4戦中前半3戦を連勝して早々とシリーズチャンピオンを決めた100古谷彰教は「最終戦が他のレースと日程がバッティングしていて、ここで勝ってシリーズを決められてとても嬉しい」と語った。

POINT RANKING ポイントランキング

Rank	No.	Name	3/31	6/23	8/25	11/2	Total
			Rd.1	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Point
1	100	古谷 彰教	20	20	20	—	60
2	33	國本 悟	0	0	—	20	20

NA1600

37 秋元 優範



台数が少なかった分、運が良かったな？あまり競り合って勝ったという感じでは無いので嬉しいことは嬉しいのですがちょっとね...来シーズンも続けますがもっと台数が増えてくれればさらに嬉しいのです。

POINT RANKING ポイントランキング

Rank	No.	Name	3/31	6/23	8/25	11/2	Total
			Rd.1	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Point
1	37	秋元 優範	15	20	20	20	75
2	73	小宮 伸介	20	0	0	—	20
3	31	高橋 賢一	0	15	0	—	15

AE86

240 山口 崇



一戦負けてしまったのがとても悔しいです。接戦になるのは楽しいのですが、何しろもっと参加台数がいればもっと楽しめるのがね。負けるとマシンをいじるのですが、勝てているときはそのまま行きます。

POINT RANKING ポイントランキング

Rank	No.	Name	3/31	6/23	8/25	11/2	Total
			Rd.1	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Point
1	240	山口 崇	20	12	20	20	72
2	40	柳本 文彦	15	20	0	15	50
3	16	朝倉 潤司	0	0	15	0	15
4	36	大石 重之	0	15	0	0	15
5	41	中村 徹	0	0	12	—	12

AE111 Levin/Trueno

78 冥賀 直文



シリーズチャンピオンまでいくとは思ってなかったのですが、自分でもびっくりです。AE86からレースを20年、優勝は出来てもシリーズはまさか取れないかと思っていましたが今年は途中からもしかして？と。来年も連覇を目指します

POINT RANKING ポイントランキング

Rank	No.	Name	3/31	6/2	8/25	11/2	Total
			Rd.1	7/21	Rd.4	Rd.5	Point
1	78	冥賀 直文	20	20	10	20	70
2	22	宮崎 敏	0	12	20	10	42
3	5	小島 寛之	0	15	12	12	39
4	91	窪田 範明	15	0	8	8	31
5	23	藤木 学	0	10	15	0	25
6	90	本吉 正樹	—	—	—	15	15

ROADSTER CUP NA6

7 茂木 文明



周りがどんどん速くなってきて、シリーズ後半になってくるとけっこう苦しい戦いになりました。最終戦がとて走っていて楽しかったです。来シーズンもこのクラスで連勝を狙います

POINT RANKING

ポイントランキング

		3/31	5/19	8/24	12/7	Total
Rank	No. Name	Rd.1	Rd.2	Rd.4	Rd.6	Point
1	7 茂木 文明	20	20	20	20	80
2	76 辻本 均	10	12	12	15	49
3	23 山川 稜	15	15	15	15	45
4	999 鳥居 武史	0	10	0	12	22
5	882 杉岡 尚人	12	0	0	—	12

ROADSTER CUP NB8

11 戸田 裕一



楽しんだシーズンでした、2年連続チャンピオンの後、開幕戦が2位だったので逆にプレッシャーが無くなったのが良かったのかも？来シーズンもこれで頑張ります、「アイツを負かせたい!」と思われる存在になりたいです。

POINT RANKING

ポイントランキング

		3/31	5/19	8/24	12/7	Total
Rank	No. Name	Rd.1	Rd.2	Rd.4	Rd.6	Point
1	11 戸田 裕一	15	20	20	20	75
2	22 山平 健太郎	20	12	12	12	56
3	77 伊藤 元洋	10	0	15	15	40
4	100 岸澤 祥宏	12	15	—	0	27
5	91 神谷 誠	2	4	8	8	22
6	3 羽入 大輔	0	10	10	0	20

DEMIO RACE

75 西山 隆



今シーズンは良かったです、他の人たちがスピードが上がりてきて、特に最終戦は気が抜けなくてそれが楽しかったです。来シーズンはまだ決めていませんがレギュレーションも変わりそう？資金次第ですが何かしら続けたい

POINT RANKING

ポイントランキング

		3/31	5/19	6/22	11/2	Total
Rank	No. Name	Rd.1	Rd.3	Rd.5	Rd.6	Point
1	75 西山 隆	20	20	20	20	80
2	24 オガチ マサヒト	0	0	0	15	15

N1000

39 黒岩 巧



今シーズンはデータも取れずにスタートしたので開幕からポールなのにガス欠になってしまったというトラブルもありました。第2戦から徐々に良くなっていったというシーズンでした。来シーズンはまだ何も決まっていますが乗りたいです。

POINT RANKING

ポイントランキング

		3/31	6/22	11/2	12/7	Total
Rank	No. Name	Rd.1	Rd.3	Rd.5	Rd.6	Point
1	39 黒岩 巧	15	20	20	15	70
2	41 佐藤 英二	20	15	12	20	67
3	32 海野 純也	12	12	15	12	51
4	2 あおき みのる	0	10	0	10	20
5	83 松本 英之	0	8	—	8	16
6	51 清水 悠祐	—	0	10	—	10

ROADSTER

1 雨宮 恵司



若手が皆、育ってきてくれて嬉しい!もっと台数も増えてほしいけれど、最終戦で八田くんも復活してきたりと、楽しい一年でした。来シーズンも又、若者を押さえて自分を出てくような人が出てきてくれるのを願って頑張ります

POINT RANKING

N1400 / ポイントランキング

		5/19	6/22	8/10	12/7	Total
Rank	No. Name	Rd.2	Rd.3	Rd.5	Rd.6	Point
1	1 雨宮 恵司	20	20	15	15	70
2	43 大井 正伸	8	15	20	6	49
3	18 大野 俊哉	15	0	12	20	47
4	24 田辺 良輔	10	12	10	12	44
5	8 福永 健二	12	0	—	0	12

ROADSTER CUP NA8

230 石渡 幸治



今シーズンは辛かった〜!途中からわからない人(笑)が出てきたのですね。最終戦では予選でポールが取れたし良かったです。来シーズンは多分お休みの予定ですが、また絶対に戻って来たいです。

POINT RANKING

ポイントランキング

		3/31	5/19	8/24	12/7	Total
Rank	No. Name	Rd.1	Rd.2	Rd.4	Rd.6	Point
1	230 石渡 幸治	20	20	0	15	55
2	88 山田 健介	0	15	15	12	42
3	1 山形 卓	—	—	20	20	40
4	81 正木 佳	15	0	0	0	15
5	0 松本 章宏	12	0	0	—	12

ROADSTER CUP NC

64 芝本 淳



最終戦は一番キツかったですがシーズン全般ではライバルにも恵まれてその中でチャンピオンも取れて良いシーズンでした。来シーズンはクラス編成でいろいろな噂が飛んでいますが、どちらにしても続けたいと思っています

POINT RANKING

ポイントランキング

		3/31	5/19	6/22	11/2	Total
Rank	No. Name	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.5	Point
1	64 芝本 淳	15	20	20	20	75
2	8 菊池 聡	20	15	15	15	65
3	18 ランマン	0	0	12	0	12
4	21 新井 敏克	0	12	0	0	12
5	121 Blackmore Otto	12	0	—	0	12

N1400

21 大竹 直



ポイントリーダーを守ってはきましたが、僅差だったのでその気分ではない一年でした。カテゴリ違いのマシンと戦う難しさを実感したシーズンでした、来シーズンも出来る限りこのクラスで頑張ります。また耐久も復活して欲しい

POINT RANKING

ポイントランキング

		3/31	6/22	11/2	12/7	Total
Rank	No. Name	Rd.1	Rd.3	Rd.5	Rd.6	Point
1	21 大竹 直	20	15	15	20	70
2	0 戸数直人	15	10	10	15	50
3	13 北川 信弘	8	20	20	0	48
4	22 みかもと ひろし	12	12	12	0	36
5	78 大沢 雄哉	3	8	0	12	23
6	91 上山 敦裕	10	2	3	0	15

DEMIO (N1)

103 R.P.M/H



DEMIOといえはこのドライバー!というくらい完走すれば優勝というR.P.M/Hが今シーズンもチャンピオン。他のクラスとの混走でどうしてもタイム差があるので毎回他クラストップにラップされないようにと頑張っている

POINT RANKING

ポイントランキング

		3/31	6/22	11/2	12/7	Total
Rank	No. Name	Rd.1	Rd.3	Rd.5	Rd.6	Point
1	103 R. P. M/H	20	20	20	0	60

86&BRZ

77 山内 正義



チームのおかげでシリーズチャンピオンを取れました。明るく楽しい車好きたちに囲まれて、楽しくやらせていただいても良いシーズンでした。最終戦の明々後日が監督の誕生日なので良いプレゼントになりました

POINT RANKING

ポイントランキング

		5/19	6/22	8/10	12/7	Total
Rank	No. Name	Rd.2	Rd.3	Rd.5	Rd.6	Point
1	77 山内 正義	20	20	20	20	80
2	55 藤巻 靖幸	15	15	10	10	50
3	47 落合 立成	0	0	12	12	24
4	37 畠中 修	—	—	—	15	15
5	25 鶴飼 龍太	—	0	15	—	15
6	57 いとう りな	0	12	0	—	12



2013 FUJI CHAMPION RACE SERIES ROUND 6



REVIEW

N1400/N1000/DEMIO (N1) ROUND 4



RESULT リザルト N1000

Rank No.	Name
1	41 佐藤 英二
2	39 黒岩 巧
3	32 海野 純也
4	2 あおき みのる
5	83 松本 英之
6	51 清水 悠祐

RESULT リザルト N1400

Rank No.	Name
1	21 大竹 直
2	0 戸数 直人
3	78 大沢 雄哉
4	72 高橋 ノボル
5	90 船木 周一
6	222 小野田 篤士

REVIEW

ROADSTER 86&BRZ ROUND 4



N1400クラスは、4台がこの最終戦までチャンピオン争いがもつれ込み、N1000クラスでも3台。DEMIOクラスだけが前回まで103阿部組WMデミオRPM/H R.P.M/Hがチャンピオンを決めている。また、この最終戦でも激しい戦いになりそうな予感のするクラスだ。予選でトップになったのはN1400 13 高田眼科MMS岸本RSカルタス 北川信弘2'08.361でコースレコード更新。N1000は39 IDI・DL・ROMANTEC10 黒岩巧2'17.059でこちらもコースレコードを更新した。DEMIOは103 R.P.M/Hがトップ。やはり決勝レースはかなり激しく、総合でもN1000クラスでも毎週回ごとにトップが変わる目まぐるしい展開。そんな中をポイントリーダーの21スノコDLマリンAID82 大竹直が予選6番手からじわじわと順位を上げ、ラスト2周でトップに立ちそのまま優勝した。N1000クラスでは予選2番手41 マルチクラフトプラクトVitz 佐藤英二が優勝。大竹は「北川さんの前で終わらなければシリーズチャンピオンは無かったのですが、予選の結果で返って開き直れました。シリーズが獲れて周りの皆様に恩返し出来てとても嬉しい」と話し、41 佐藤は「黒岩さんはストレートが速いので1コーナーで押さえて何とか走りきりました。皆、信頼できる方々たちなのでとても楽しめました」と話していた。

86&BRZクラスは前回まで77 CLUB PANTERA86 山内正義が3連勝でチャンピオンを決めている。ロードスタークラスは1 コーンズIDIロードスター 雨宮恵司と43 カーアイランドμロードスター 大井正伸がこの最終戦までチャンピオン争いをもち込んだ。予選トップタイムを出したのは37 KeePerSAMURAI86 畠中修2'03.701のコースレコードも更新。ロードスタークラストップは2'08.821で1 雨宮がトップからのスタート。決勝レースは1周目で予選2番手からスタートしたシリーズチャンピオンの77 山内がトップに立ち、徐々に後ろを引き離しにかかり、10週のレースの最後には16秒の差をつけて優勝した。ロードスタークラスは大接戦、上位5台ほどが大接戦を繰り広げ、後半に差し掛かる頃には1雨宮と18コーンズIDIロードスターの大野俊哉の激しいトップ争い。10週のレースはコマ2秒差で18大野が先にチェッカーを受けた。レース終了後77山内は「ボールを取られてしまったので「倍返しだ!」と思い臨みました。明々後日が監督の誕生日なので良いプレゼントになりました」と話し、18大野は「コーンズ軍団が1・2・3を占められて、師匠の雨宮さんに勝てたのが2回目なのでとても嬉しい!」とコメント。

RESULT リザルト ROADSTER

Rank No.	Name
1	18 大野 俊哉
2	1 雨宮 恵司
3	24 田辺 良輔
4	11 八田 新一
5	22 小林 弘典
6	43 大井 正伸

RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No.	Name
1	77 山内 正義
2	37 畠中 修
3	47 落合 立成
4	55 藤巻 靖幸
5	56 平良 浩幸
6	25 鵜飼 龍太

REVIEW

ROADSTER CUP

NA6/NA8/NB8

ROUND 4



RESULT リザルト NA6

Rank No.	Name
1	7 茂木 文明
2	76 辻本 均
3	999 鳥居 武史
4	82 椎名 団
5	27 野木 強
6	23 山川 穂



RESULT リザルト NA8

Rank No.	Name
1	1 山形 卓
2	230 石渡 幸治
3	88 山田 健介
4	81 勝とう 常時
5	71 山本 純一
6	9 横須賀 純一



RESULT リザルト NB8

Rank No.	Name
1	11 戸田 裕一
2	77 伊藤 元洋
3	22 山平 健太郎
4	75 澤田 薫
5	91 神谷 誠
6	100 芹澤 祥宏

REVIEW

AE111 Levin/Trueno

ROUND 4



RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	78 冥賀 直文
2	90 本吉 正樹
3	5 小島 寛之
4	22 宮崎 敏
5	91 窪田 範明
6	8 雨宮 恵司

REVIEW

86/BRZ Turning Car Race

8Beat

ROUND 3



RESULT リザルト 8Beat

Rank No.	Name
JP-2R	
1	2 小野田 貴俊
JP-2	
1	8 岸 昭英
3	7 伊藤 毅
3	49 清 充秀
JP-3	
1	33 坂本 弘明
2	6 坂本 猛彦

今シーズンから始まった86&BRZのチューニングマシンでナンバー付きで行われるこのクラス、全3戦の最終戦は今回の富士チャンピオンレースとの併催となっている。改造範囲でJP1,2,3にクラス分け、さらにプロとアマチュアに区分された混走レースになっている。予選でトップタイムを出したのはコースレコードも更新したJP2Rクラスの2 T-RISE BRZ 小野田貴俊、2'03.814。JP3クラストップの33 明興業T-RISE86 坂本弘明も2'08.585でコースレコードを更新している。今回はJP1クラスが未出走のため、この2クラスで決勝レースが行われた。スタートを押さえた2小野田の後にオープニングラップで2番手に上がった8 PowerCraft彩86 岸昭英がびったりと着く、中盤少し間隔があったものの終盤になり激しいトップ争い、8周のレースは2小野田が逃げ切りトップチェッカーを受ける。JP3クラスは33坂本がそのまま逃げ切り優勝した。